

Living Water

Kwassui Gakuin

その幻の名器は
愛と祈りを捧げる時を
見守りつづける

144

数字の秘密は4ページへ



中山マサ わが国初の女性大臣 近代日本における社会福祉の母

中山マサ

1891年長崎市生まれ、長崎師範付属小から活水女学校に進学。専修科を経て1911年オハイオ・ウェスレян大学に留学、1916年卒業。その後活水高等女学校教員に着任。弁護士中山福蔵と結婚。夫の政界進出に続き、1947年に大阪選挙区から衆議院議員選挙に挑戦し初当選。議員として1958年に角膜移植法成立に尽力、小児マヒ撲滅のためのポリオワクチン接種の実現、また、1960年わが国初の女性大臣（厚生相）に就任。衆院海外同胞引揚特別委員長、サンフランシスコ平和条約全権随行委員等を歴任。博愛の政治家として後世に名を残す。ウェスレян大学名誉法学博士。

（参考資料）
中山太郎著「おマサさん」
サンケイ出版、1977年
活水同窓会編『活水同窓会の歩み』
1987年

中山マサ（以下、マサ）が中等科、専修科、教員として活水で過ごした年月は15年にわたる。多感な青春時代にふれた活水の教育が、マサの人格形成に影響を及ぼしていることは言うまでもない。1960年わが国初の女性大臣として、貧困母子家庭への児童扶養手当支給を制度化するなど日本の社会福祉の基盤整備に貢献。故福田赳氏元首相は、「おマサさんは愛の政治家である」と語る。マサの愛とは他者を思う心、そして行く道を照らす光である。1918年から100年以上続く活水バザーの創設に尽力、また創立80周年記念式には同窓会館設立の呼びかけと基金を置いている。学院発展の功労者である。創立者エリザベス・ラッセル先生が確信した精神、すなわち「一人ひとりが一個の人間として自立し、眞の愛を抱いて生きる新しい女性の確立のために高度な専門教育の道を切り拓く」。マサは、その確信を見事に体現した。マサが注いだ愛の泉は、活ける水として令和の現代に息づく。



上：勲一等瑞宝章受章記念肖像画
左：マサ像を囲むOGたち。
マサの愛と献身の精神は今も後輩たちに受け継がれている。



聖書のことば



イエスはお答えになった。
『人はパンだけで
生きるものではない。
神の口から出る
一つ一つの言葉で生きる』
と書いてある

目次

- 2 聖書のことば
- 3 KWASSUI History 2
中山マサ わが国初の女性大臣
近代日本における社会福祉の母
- 4 フランツ・リスト “エステ莊の噴水”
144 小節と校名の由来の聖句
東山手図書館の貴重書について
- 6 先輩たちの今 Close up ②
佐田玲子さんにインタビュー
- 9 國際文化学部日本文化学科 地域ビジネスコース
【長期インターンシップ】
- 10 大学授業最前線②
人の役に立つ実践的な英語を学ぶ
- 11 Hello 研究室
健康生活学部子ども学科 福井謙一郎先生
- 12 KWASSUI からばばたく 中高卒業生の活躍
表現の喜びを分かち合う
- 14 サーカルアクティビティ②
その一瞬に息吹をあたえて—— 活水高校 写真部
- 15 87歳現役 YouTuber～しなやかに、優雅に暮らす～
- 16 高大接続・探究型学習
「活ける水キャリアデザインプログラム」とは……
- 19 日本の女子教育摇籃の地・長崎東山手の丘
あなたの夢の実現をサポート
- 20 Alumnae (アラムニー)
活水女子大学のグリーンスカラシップ
- 22 2021 (令和3) 年度決算について
- 23 活水学院創立 150 周年記念募金のお願い
- 24 2023 年度入試日程／行事とお知らせ

表紙



「アメリカ教会音楽の父」と呼ばれ、数多くの讃美歌の出版で名声を博した父をもつヘンリー・メイソン、多才な発明家にして機械設計に長けたエモンズ・ハムリン。二人の音楽に対する並々ならぬ愛と情熱が楽器製造につながる。活水学院の Mason & Hamlin 製リードオルガンは、二人の技術者によって1890年代に製造された。幅131センチ、高さ113センチ、奥行き58センチ、手鍵盤、8個のストップを有する。1966(昭和41)年に日本基督教団長崎教会より寄贈を受けたもので、2009年創立130周年記念イベントでは、東山手十二番校舎(旧宣教師館)に、深みのある音色を響かせた。8つのストップ・レバーによって音量や音色を選ぶことができ、明るさや深みのある渋さなども調整できる。日本への輸入台数はきわめて限られており、修復され演奏できるものは数台とみられる。ラブマニノフやラヴェルらに愛されてきた Mason & Hamlin。アコースティック・サウンドが豊かに小チャペルに降り注ぐ。

(中高宗教主任：三河悠希子)

活水学院報題字：藤原 朱石

ロマン派音楽を代表する作曲家の一人フランツ・リスト（1811-1886）が、晩年に作曲したピアノ曲「エステ荘の噴水」の楽譜の144小節目に校名の由来の聖句がラテン語で記されている。

Sed aqua quam ego dabo ei, fiet in eo fons aquae salientis in vitam aeternam.

(Evang : sec : Joannem 4-14.)

リストがこの聖句を刻むに至った背景を追つてみた。

フランス・リスト “エステ荘の噴水” 144 小節目と校名の由来の聖句



吉田 峰明 教授

リストといえば、名曲「ラ・カンパネラ」を通して「ピアノの魔術師」と教わった人も多いと思う。また、中学の音楽室の後ろに並んだ作曲家の中の眉目秀麗の肖像画を憶えておられる方もいるだろう。彼は若い頃から哲学、文学、キリスト教にも精通し、また、ピアニストとしてドイツを中心にフランス、ハンガリー、イタリア、英國へ渡り、歐洲音楽界に音楽芸術の発展を働きかけ、多くの音楽家に影響を与えた。また、同時代に生きた名だたる作曲家やピアニストがリストのもとを訪れている。彼の作風は革新的で、次の時代への橋渡しを担つてきただが、教会音楽にも長年取り組んできた。

「巡礼の年」という作品群「第1年スイス」「第2年イタリア」「第2年補遺ヴェネツィア」とナポリ、「第3年」がある。実子の死去という失意のなか53歳でカトリック聖職者となり、その後、ローマ近郊ティヴォリにある「エステ荘」に居を構えた。至るところに噴水が湧き出るこの地で、「第3年」4曲目「エステ荘の噴水」を書き上げた。齢70を越えてからの創作にして瑞々しく流麗かつ斬新な作風、そこに表現されるきらめく水の流れは生命の躍動を想起させる。曲のタイトルにある噴水は、活水のスクール・モットー「知恵と生命との泉——主イエス・キリスト——に掬べよ」のメタファーにちがいない。だからこそ聖句を楽譜に書き入れた。これは私の想像の飛躍だろうか。

明るい陽光と豊かな色彩で音を紡ぎ出し美しく希望に満ちたリスト晩年の代表曲。作品が創作された1882年は、創立者ラッセル先生が東山手十三番に広壮大な校舎を建てられ、活水女学校の新たな発展の基盤が整備された年である。140年の歳月を経ていまなお想せるこのない圧巻の作品、多くの人に親しんでほしい。

吉田教授が演奏する
「エステ荘の噴水」
こちらからお聴き
いただけます



Sed aqua quam ego dabo ei, fiet in eo fons aquae salientis in vitam aeternam. (Evang : sec : Joannem 4-14.)

しかし、わたしが与える水を飲む者は決して渴かない。わたしの与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。（ヨハネによる福音書4章14節）

国内大学屈指の楽譜蔵書

活水女子大学には、東山手図書館と看護学部図書館の2つがあり、両館合わせて約31万冊の図書、雑誌約2,000タイトル、他に視聴覚資料や電子書籍などがあります。図書館で重点的に収集されているのは、学部学科の研究や学習のための資料ですが、東山手図書館には1万を超える楽譜も所蔵しています。これは国内大学図書館で屈指の蔵書数を誇ります。

貴重書とはどんなもの

創立以来143年にわたり収集された膨大な資料のなかで、資料的な価値が高く、希少性が高いものを「貴重書」としています。本学における貴重書の基準は、ラッセル先生関連のもの、草創期の教員からの寄贈書、活水女学校時代からの蔵書、現在入手困難なもの、また入手時に高額だったものの、教員より資料価値が高いと示唆があったものとしています。洋書・和書含め現在、約1,200冊の貴重書を所蔵しています。



貴重資料として登録された楽譜

東山手図書館には1万を超える楽譜があると紹介しましたが、「貴重書」として保管されている楽譜があります。これらはいずれも戦前に出版された楽譜です。一番古いものは1915年出版の『大正幼年唱歌第二集』。著者の小松耕輔は、日本最初のオペラ「羽衣」を作詞・作曲し、日本で初めて合唱コンクールを開催するなど、日本の音楽文化の普及と向上に貢献した人物です。日本では1918年頃から、子どもの心により添った芸術性や文学性に富んだ童謡を作る動きが盛んとなり、「七つの子」や「夕焼け小焼け」といった現代にも歌い継がれる童謡が生まれています。『大正幼年唱歌第二集』から、どのような童謡が歌われていたか知ることができます。

図書館は「知」との出会いの場

本学は1887年に音楽科が誕生、ラッセル先生が「音楽をまなぶことは思想を音で表現すること」と語っていることからも、音楽教育を重要視していたことがうかがえます。このような教育の流れを受け継ぎ蔵書に加わった楽譜は、合唱曲、聖歌や教会音楽が主となっています。楽譜に「活水女学校印」という蔵書印が押されているものもあり、音楽科の授業や宗教の時間に使用されていたものと推察されます。また、戦争や自然灾害をまぬがれて現存していること自体、非常に価値があります。なお、本学の登録楽譜のうち、教会音楽関係の楽譜など12冊は国立国会図書館「近代日本刊行楽譜総合目録 洋楽編」データベースにも登録され、国内では本学図書館のみが所蔵しているものです。

図書館は「知」との出会い、新しい発見の場です。活水学院の歴史や図書館の蔵書について少しでも興味を持つていただければと思っています。



東山手図書館の 貴重書について

先輩たちの今
Close up
②

佐田玲子

Profile

ボーカリスト、ソングライター。活水高等学校出身。存在感のある声と、天性の相対音感・リズム感に支えられたボーカルに定評がある。

REIKO SADA
Reiko Land

玲子

さん
インタビュー

活水高校を卒業後、ボーカリスト、ソング・ライターとして活躍する佐田玲子さん。東京から長崎へ拠点を移された佐田さんに、インターンシップ中の現役活水生が当時の思い出や活水の魅力、これからのことを見ました。

活水時代の思い出

まず最初に思い出すのは先生方ですね。面白くて親身になってくれる先生ばかりでした。中でも高3の時の担任だった中尾先生は印象深いです。卒業式の日にクラスの皆で買ったゴルフウェアを教壇の上に置いてサプライズしたら、先生がまさかの号泣で。普段は強面で泣くような先生じやなかつたからこちらがびっくりしちゃった思い出があります。卒業後だいぶ経つて、私が久しぶりに長崎でライブをした時にも来てくださいました。あの時はお会いできて本当に嬉しかったですね。

在学中に感じていた活水の魅力

クラスの垣根があまりなくて、みんな仲間感があつてフレンドリーでしたね。でき

なにか一つ。
夢中になれるることを
活水で見つけてほしい。
何が楽しかったか。
好きだったか。
いろいろなことをやってみて
何が楽しかったか。
好きだったか。
とりあえず



んですよ。それが魅力でしたね。
初めてバンドを組んだのは高3の文化祭の時。当時の文化祭は本当に個性豊かで、宝塚好きの友人が「ベルサイユのばら」を忠実に再現したり、時代劇をやる人たちもいてね。私を含め、みんなやりたいことをやっていて自由でした。
基本的にNOという人がいなくて、まではやってみようという活発な人が多かった。みんなが人気者で、何事にも手を抜かずに取り組んでいたし、先生方はそれを見守ってくれていましたね。

学院ではキャリア教育に注力

生きていく上で何が必要になるのかを学校側が導いてあげなきゃいけないかな。なにか一つ夢中になれるものを見つけ

可能性もあるし、
それが自信に繋がったりすることもある。好きなことを伸ばしてあげられるような場所があればいいと思うし、学校がそれを用意してあげられたらいいですね。何が好きなのか分からぬの方が多いので、選べるもの用意しておいて、とりあえず全部やってみた方が一番楽しかったか、好きだったか。男性も女性も一緒なので、「男性に負けない」ではなくて「自分」の良いところをどれだけ伸ばしていくかが大切なんじゃないかな。

佐田さんが考えるジェンダーのこと

活水を卒業した後、東京でコンサートスタッフをしていたんです。当時は私以外に女性が一人もいなくてね。男性に「重いものは持たなくていい」と言われて、きっとその人は優しさで言ってくれていたんだけど、「女だからダメ」と思われるのがとに

理想とする長崎のビジョン

長崎人は通り過ぎる人に優しく、立ち止まる人には優しくないというのを聞いたことがあります。これってつまり観光客には優しいけど移住してきた人には厳しいってこと。長崎つてけっこう閉鎖的。もっと誰に対してもウエルカム状態にするべきなんじゃないかな。

それから、自分が住みたい街にしていくために、もっと意見をどんどん言うべきです。

少子高齢化になっているし、消滅都市一位になってしまっているので寂しいですよね。子どもたちがみんな都会に行ってしまわないような、長崎に住んで長崎で働こうと思えるような魅力を創り出していくことが課題だと思います。



ることは「すごい！」と褒めて、できないことはできる人がフォローしてみたいな、お互いを支え合う雰囲気が自然にできました。本当に良い思い出しかないんですね。嫌な思い出は全然思いつかない。強い言葉なら制服で稻佐山に遠足に行つたところくらいかな(笑)。暑くてきつくて「普通制服で行くか?」と皆でツツツ言つてました。

当時は生徒数も多くて、一番楽しかった時代でしたね。そんな学校生活だったからかな。もともとは人見知りだったんですけど、いつの間にか私も壁を作らない積極的な性格になりました。当時の活水生は団々多いのになんか憎めないキャラクターの人が多くて、長所や短所や凸凹はありましたけれど、それがうまいことまとまつっていました。



これからのこと

コロナ禍の今は情勢を見ながらできることがやっていくしかないですね。基本的に音楽をメインにこれからも活動していくつもりです。12月には大分・長崎・東京・名古屋・大阪の5か所でクリスマスコンサートを予定しています。久しぶりの今から楽しみなんですよ。



活水に進学を希望する人へ

活水ははつちやけた生徒が多く、すごく居心地がいいし、九州各県から学生が集まるので、九州の小さなグローバルのような感じでとても面白い学校だと思っていました。長崎という場所や活水という学校の魅力がもっと伝わると、更に全国から多くの人が集まるんじゃないかな。共学の学校が増えましたけど、女子校には女子校ならではの面白いところもたくさんある。活水が持っている他では感じ取れないような特殊な「はつちやけ感・活発さ」を皆さんに体感してもらいたいと思います。



地域ビジネスコースとは

地域ビジネスコースとは国際文化学部日本文化学科に3年前開設されたコースで、経営学や観光学、地方自治論などの専門科目を学びながら、PBL（課題解決型学習）や長期インターンシップ（実習）を通じて社会

人としての実践力を身に付けることができます。
地域元・長崎の地域資源をどう生かすか、一方で人口減少という課題にどう向き合うか、そういう具体的で身近な社会問題に着目し、課題解決策を模索し、学びを深めた経験を将来のキャリアに生かせる学生を育成しています。

コースの特徴と魅力

なんといつてもフィールドワークを含めた課題解決型学習が多く取り入れられていることと、2ヶ月間にわたる長期インターンシップです。実際の地域課題について考え、課題解決に向けた提案を行うなど、地域ビ



八坂 徳子 准教授

福岡県出身。
広告会社、紙の専門商社を経て大学教員へ。
約20年、企業の人事、経営に携わった。
大学教員となり、企業で人材を受け入れる立場から、大学教育の現場で人材を育てて社会に輩出する立場に。

地域の課題解決を一緒になつて考える

ビジネスを肌で感じられる機会が数多くありますし、2ヶ月の長期インターンシップは、多くの大学が取り組んでいないため、注目されています。

地域ビジネスコースの長期インターンシップ

2か月間自分の希望する（興味のある）職場で一社員、一職員として仕事に従事。

[受入先] 県庁や市役所、広告業、住宅メーカー、ホテル業、金融業など

自分の適性を確認できる

業界理解を深められる

有益な就職活動へ

学生
・職業意識の醸成
・社会人、基礎的汎用的能力の向上
・専門教育との往還

受入先 (企業・自治体)
・企業理解(就職希望)の促進
・採用ミスマッチの解消
・社内の活性化(人材育成)
・大学連携のモデルケースとして全国に発信

ことで学生と地域が連携してより良い町づくりに繋がる取り組みとなっています。

コースに興味がある方へ メッセージ

地域ビジネスコースは、ビジネスや地域を活性化する現場で企画力や経営力を發揮する人材を目指す人におすすめです。長期インターンシップでは、「自分がなりたい職業」を実際に体験でき、様々な業界への理解を深めることができます。大学で学んでいることを実践応用できる力をつけて、将来自分がやりたいことを見つけるために、地域ビジネスコースで学んでみませんか。

インターンシップ体験
私は地域ビジネスコースのキャリアデザイン実習として、(有)正文社印刷所さんに2か月間お世話になりました。期間ごとに各部署に配属され、印刷物が製品になっていくまでにどのようなことが行われているのかを知ることができました。基本的な業務内容を教えていただきながら、営業同行やチラシ作成・仕上げ作業といった、より実践的な形で学んでいきました。そのため自分が社会に出た時の事も想像しやすく、何が今の自分に足りていらないのかを見い出すことができました。

取材・編集のテクニカル

取材に限らず全てに言えることですが、大切なのはターゲットやコンセプトを設定



し、それに合わせた「切り口」を明確にするということです。明確でないと方向性を見失いやくなります。実際に取材内容やレイアウトを考える時、その意識があつたおかげで効率的に作業を進めることができます。また、レイアウトのポイント等、多くの事を学ぶことができ、やりがいを感じながら楽しく作業することができました。

現場実習で実感した事

先を見据えながら行動をする大切さを感じました。優先順位を考えながら計画的に業務を遂行し、その業務を更に次に生かせるよう会社全体で取り組んでいました。またミスが起きないよう他の部署ともコミュニケーションを取り、しっかりと連携されていて、個々の役割的重要性や、会社として

一体感を持ち業務を遂行する大切さを、肌で感じることができます。

まとめ・感想

長いようで短い、とても密度の濃い2か月間を過ごすことができました。期間中は一社員として扱っていただけますが、佐藤さんへの取材等、授業では得られない貴重な体験ばかりでした。大変なこともありますでしたが、何より仕事が楽しいと感じました。

Internship experiences

肌で体験できた現場のこと



次ページ「地域ビジネスコース」の取材も私が担当しました！



かステラ cafe ☆自由飛行館

〒 850-0831 長崎市鍛冶屋町 6-32 三浦ビル 1F
TEL.095-823-4134
毎週木曜定休 (祝日営業)
[営業時間] 10:30 ~ 17:00 (変更有り)



保護者をとりま

学内での学生相談活動について

私は以前、中学生や高校生といった、いわゆる「思春期」の生徒たちを対象にカウンセリングを行なっていました。現場で生徒たちとふれあう中で、「家庭環境って大切な」と感じるケースが非常に多く、そんな思いから、現在は愛着形成、特に保育者の家庭環境に関する研究を行っています。

研究内容や社会活動について

えてきたのは、とても喜ばしいことで、しかもお父様方はとても真剣に取り組んでくださるんですね（お母様方も真剣ですよ！）。中には「専業主夫」として日々を過ごされている方もいらっしゃるので、時代は大きな転換期を迎えるつあると感じます。



健康生活学部 子ども学科 福井謙一郎 講師

学位／臨床心理学修士、教育学修士
専門領域／臨床心理学、教育心理学
主要担当科目／発達心理学、子ども家庭支援の心理学、教育心理学、臨床心理学、教育相談の理論
所属学会／日本学生相談学会 日本保育学会 日本保育者養成教育学会

卷之三

「親子関係」に関する問題で、私の研究領域にも重なっているところですね。昔は親子の問題といふと、真っ先に「虐待」が挙げられていましたが、それは今でも大きく変わらないのですが、いわゆる「過保護・過干渉(over protection)」的に育てられた子どもが大学生となり、親子の依存的な関係から抜け出せずにいるケースがしばしば見受けられます。しかし本人は「自立したい」と頑張っているので、その努力を後押しする、といった形で学生相談を進めていきます。

学生の皆さんには、「100%でなくともいいので」とにかく信頼できる誰かに頼ってほしいと切に願っています。

授業を進める」で、私が最も大切にしていることは、「学生の皆さんから意見を大切にする」ということです。私もそうだったのですが、大学生になると、授業中に手を挙げて自分の

していることは、「学生の皆さんから意見を大切にする」ということです。私もそうだったのですが、大学生になると、授業中に手を挙げて自分の意見を言う機会が少なくなります。とはいえないといふことや聞きたいことがないかというと、そういうでもないようで、メールやレポートで質疑を集めると、多い時は30～40%ほどの受講生がとても具体的な質問を投げかけてくれます（その分、フィードバックに時間はかかりますが）。その内容を見ていると、



ア演習では、英語を用いてボランティアを行なう方法を学んでいます。皆さんには街角で外国人の人に道を聞かれ言葉に詰まることはありますか？あるいはコミュニケーションに困っている外国の方を見かけたことはありますか？そうした時に自信をもってお手伝い出来たらいいですよね。この授業は、人の役に立つための実践的な英語スキルを身に着けることを目指します。

第一週にサー・バント・リーダーシップの考え方を学びます。奉仕型のリーダーシップのことです。翌週からこの考え方方に沿って、3つのボランティア活動を実践します。

第一の活動は、ボランティア精神を学ぶために地域猫活動を行なっている一般社団法人「長崎さくらねこの会」代表の講演を聞きました。地域猫活動のきっかけや仲間の見つけ方、行政との連携、クラウドファンディングによる資金調達などについて理解しました。その後、中島川周辺を活動拠点としてフィールドワークに出かけ、地域

猫の啓蒙用リーフレットを制作しました。

第一の活動は、英語による被爆者の講話の支援です。語り部の話を伺い、そして被爆体験について理解を深め、そして語り部の講話をオンライン配信するためのサポートをします。例えばパソコンやZoomの操作を手伝い、英語で司会進行をしました。宣伝物を作り、動画に字幕を付けました。

第二の活動は、歴史ある東山手地区を英語で案内するトレーニングです。実際に「さるく」しながらプロの通訳案内士にお手本を見せていただきました。学生は自分の選んだ歴史スポットについて調査をし、英語でガイドできるように訓練しました。その後、ガイド動画を撮影し、プロのガイドにコメントをいただきました。

授業を通じて学ぶことは、英語での案内や活動の支援などいくわざかですが、英語を用いて誰かを支援するための良い種まきになるものと考えてい



英語学科2年
梅井はるかさん



学生の作成したリーフレット
(監修吉田先生)



表現の喜びを 分かち合う

日中の文化を
つなぐために



活水高等学校卒／
活水女子大学国際文化学部
英語学科 4年

藩
彩華さん

偶然の出会いは必然だった

藩さんは、中国にルーツを持つ「華僑」の家に生まれました。そして今、「変面師」として活躍中です。

「変面」とは、中国に伝わる、踊りながら瞬時に十数枚ものお面を変えていくという古典芸能ですが、面が変わる仕掛けは中国の国家一級機密で門外不出だということです。

長崎育ちの藩さんが中国の伝統芸能を受け継ぐことになったのは、中学生のときになりました。ランタンフェスティバルで中国から



今を必死に

人に変面を、中国文化を知つてもらいたい」という藩さんの願いは、叶いつあります。

しかし、長崎と他都市とでは、観客との関係性が違う、と藩さんは言います。県外の観客が面の変わる瞬間に注目しがちなのに対し、長崎の観客はこれにとらわれず、演技全体を見てくれるのだそうです。目の肥えた長崎の観客によって藩さんの演技も洗練されてきたのです。

藩さんにとって、ステージでの表現の喜びは、長崎の観客とつくり、そして分かち合ってきたと言えるのでしょう。

伝統のバトンをつなぐ

藩さんは高校時代に、「日本でも希少な存在である変面師として日中の文化をつなぐ」という決意を書き残しています。そして、指導を受ける機会も少ない変面の演技を、自分自身で工夫してきました。そんな彼女が将来のことを考えたときは、選んだのは、長崎に残ることでした。すでに地元の報道機関に就職も決まっています。若き後継者を育てるという使命も具体化しつつあります。

来た変面師の演技を手伝つて以来、数々の偶然が積み重なった結果だそうです。

とはいえ、幼い頃から芸能スクールに通い、ダンスも習つていたといいますから、それまでの努力がチャンスを呼び寄せたとも言えます。変面との出会いは案外必然の結果だったのかも知れません。

観客とのコラボレーション

これまでの努力の甲斐あって、有名企業のCMや人気TV番組にも出演するなど、「変面」の認知度は全国的なものになりました。「長崎だけではなくもっと沢山の人々とつながっていることです。

原点はコンサートでの感動

藩さんがブラスバンドと出会ったのは、小学生のときに観に行つた、地元小浜中学校吹奏楽部の全国大会記念コンサートでした。このとき、「部員の方のキラキラした笑顔と素晴らしい演奏演技に感動した」という藩さんは、その小浜中学に進み、吹奏楽部に入部します。

そして、さらなる高みを目指して、高校は福岡の吹奏楽名門校に進学し、日本でも屈指の指導者藤重佳久先生の指導を仰ぐことになります。



経験が糧となり
今につながる

活水高等学校卒／
活水女子大学文学部英語学科卒／
私立中学・高等学校教諭

草野
花恋さん

競争から協奏へ

しかし、入学して1年で転機が訪れます。藤重先生が、定年退職を機に、活水女子大学に移籍されることになったので、戸惑いつつも、先生が活水高校での指導もなさるというので、草野さんは転校を決断します。

転校して1年後、草野さんは部長として吹奏楽部の舵取りを託されます。幸いなことに、活水の学校文化は草野さんの指導もなさるというので、草野さんは転校を決断します。

前の中学校で感じていたのは、パートごとに競争意識を背景にした緊張関係でした。しかし、活水では、お互いが楽しくうち解けながら、練習に励んでいます。

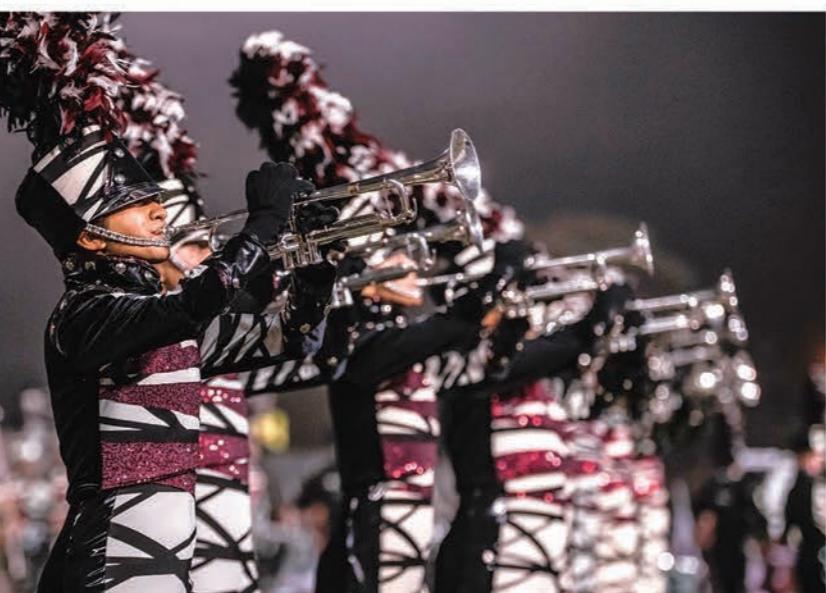
また、初心者、難関校進学希望者、県外出身者、など様々な立場の生徒があり、部活に対する想いなども多様でした。

草野さんが部長として目指したのは、その一人ひとりが一致団結して「全員が仲良く、誰からも応援されるバンド」を作ることでした。

異文化に飛び込んで

重責を果たして高校を卒業した草野さんは、英語教師になるため活水女子大学に進学しますが、転機はここでも訪れます。

2年生のとき、米国への留学を果たすのですが、滞在期間1年3ヶ月のうちの最初と最後の3ヶ月はマーチングツアードで全米を回つたそうです。最初のうちは英語に苦労したのですが、臆することなく仲間に飛び込み、音楽という、喜びを分かち合うための世界共通語を手がかりにして壁を乗り越えていきました。



顧問をしていました。藤重先生の教え、高校時代の部長としてのリーダーシップ、米国で経験したチャレンジ精神や相手を否定しない指導法など、様々なことを糧として指導者として成長しています。

輝きは努力から

そんな草野さんは、朝の礼拝の時間は、頑張り過ぎる自分を振り返り、ゆっくり労わるうえで大事だったと言います。そして、活水生へのメッセージとして、すべてのチャレンジが今となつては宝物で、「わたし、輝く」の輝きは努力からくるものだと信じています。後輩であるみなさんのことをずっと応援しています。

変面師として全国的に活躍する藩彩華さんと、県内の高校でブラスバンド部の指導をする草野花恋さん。二人と共に通るのは、芸術表現を通じて、国や文化そして世代を超えて、多くの人々とつながっていることです。



指導者として

現在、草野さんは県内の私立中高一貫校で英語を教えながらブラスバンド部の



サークル
アクティビティ

②

その一瞬に
息吹をあたえて

活水高校 写真部

第45回全国高等学校総合文化祭和歌山大会（2021わかやま絵文）写真部門 長崎県代表作品（全5点内の1点）
作者：塚本寧々（活水高校3年）作品タイトル：セーフ!!



Aesthetic Sensibilities



87歳現役YouTuber ～しなやかに、優雅に暮らす～

多良美智子さん
(昭和28年活水高卒)

「Earthおばあちゃんねる」は、多良さんとそのお孫さんによる手作りYouTubeチャンネル。200万回再生を記録した動画もあり、チャンネル登録数は14万人を突破するなど、まさに破竹の勢い。「おばあちゃんルツを探る」では、長崎に帰郷され母校の坂道をかけのぼる健脚ぶりもさりげなく披露。ぜひ一度のぞいてみてください。

[https://www.youtube.com/
c/Earth_Grandma](https://www.youtube.com/c/Earth_Grandma)



今年3月に出版した
日々の暮らしを綴った本も話題に！



自由に使える時間が贅沢にある
それこそが長生きのご褒美

- ・料理はとにかく簡単に、好きなお皿に盛って
- ・5時起きでラジオ体操、朝食は栄養満点スムージー
- ・ウォーキングで摘んだ草花を窓辺に飾って
- ・読書、裁縫、映画鑑賞…
- ・家で過ごす至福の時
- ・できないことが増えるのは仕方ない。できることを楽しむ
- など、人生を豊かに愉しむコツが満載！

次号にてインタビュー記事掲載予定
乞うご期待!!

フィルムを扱う暗室活動をしている写真部のことは聞かなくなつた。いまは、コロナ禍にあって暗室作業は小休止し、デジタル一眼レフを揃え、パソコンの画面で作品チエックする活動をしているが、暗室の看板は下ろさずにいる。高総体の取材、体育大会時の撮影、活水祭（文化祭）での展示、県写真展への参加出品が主な活動である。長崎県高等学校文化連盟が平成元年に発足し、写真専門部に当初から所属している。県内高校写真部をあげて行われる県写真展（高校写真展）に毎年、参加出品している。審査を経て上位大会への道が開かれるが、1995年度の新潟大会にはじまり、2021年度の和歌山大会まで、長崎県代表作品として全国大会出場を14回果たしている。

今やスマートフォンには高性能カメラ機能が付き、写真撮影することは、誰もが簡単にできる。写真は瞬時に世界中に発信できる。そのようななか、暗室の現像液の中で浮かび上がる一枚の写真画像に心ときめく活動に、いま少しこだわってみたいと思う。フィルムとは何かに説明がいるようになつたこの時代に、活水写真部には白黒フィルムによる活動ができる環境があり、機材や材料もある。長崎県内高校で、白黒

一枚として同じ写真はない。貴重な一枚を巡る若い時の感動体験が、その後の人生をより豊かなものにする。これまで、そしてこれからも。

「活水学院百年史」には、中高のクラブ活動の記録が綴られており、カメラ部としてのルーツを知ることができる。1980年創刊の中高の生徒会誌「活ける水」によると、第3号までカメラ部として、第4号からは写真部として部活動の記録が残る。白黒フィルムでの撮影、現像から暗室で部によって変わらずに引き継がれてきた。写真の楽しみは、シャッターを切る瞬間の醍醐味と、それに続く作品作りにある。地道な作業によって感性溢れる作品を表現してきた多くの卒業生が、代え難い達成感をもって一瞬の感動を長く残る芸術作品としてきた。

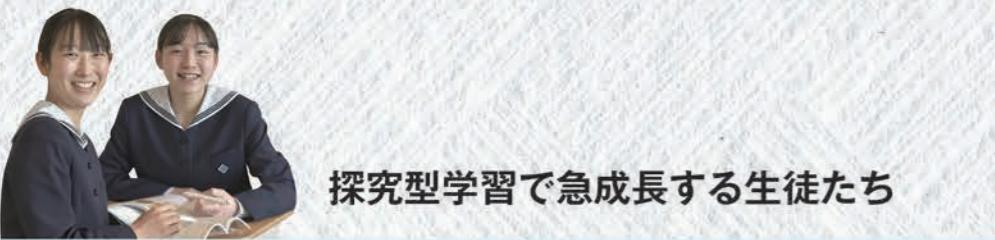
今やスマートフォンには高性能カメラ機能が付き、写真撮影することは、誰もが簡単にできる。写真は瞬時に世界中に発信できる。そのようななか、暗室の現像液の中で浮かび上がる一枚の写真画像に心ときめく活動に、いま少しこだわってみたいと思う。フィルムとは何かに説明がいるようになつたこの時代に、活水写真部には白黒フィルムによる活動ができる環境があり、機材や材料もある。長崎県内高校で、白黒



Career design programme



活水高校の新活動 「活ける水キャリアデザイン プログラム」とは……



探究型学習で急成長する生徒たち

「活ける水」キャリアデザインプログラム



められます。一方で、高校生にそのような課題を設定するのは難しく、生徒自身も「早く調査したい」、「実際に調べてみたい」という方法論に目がいきがちです。



そこで、じっくりと身の回りのことや自身の進路と向き合い、質の高い洗練された課題を設定するため、大学生との協働を計画します。高大連携の一環として、高校生の課題設定の取り組みに、

科学習で習得したことなどを發揮しつつ、自己のキャリア形成と関連づけて学習する活動です。また、興味のある事柄、職業や進路に関する課題などを自ら設定し、情報を収集、分析し、まとめることが求められます。そういった意味で、「探しめる」という言葉があてられていると考えられます。

「活ける水キャリアデザインプログラム」

活水学院は、神様から受けた「活ける水」(恵み、与えられた賜物や能力)を自分だけのために使うのではなく、社会で弱い立場に置かれている人や困難にある隣人のために活かすこと、活かせる人になることを教育の基礎としています。学院の目指す生徒の育成像は「自らが『幸せ』になるために学んだことを活用し、周りの人や社会の『幸せ』のために貢献できる女性」です。そういう女性になつてほしいとの思いを込めて、プログラム名が決りました。

プログラムの特長

他校にはみられない特長として、「協働」とい

うキーワードがあります。これは、生徒同士の協働だけでなく、大学生や社会で活躍する方との協働を意味します。「総合的な探究の時間」では自

分で社会や進路に関わる課題を設定しますが、しっかりととした課題設定ができないと、その後の情報収集や分析の活動が充実しません。教養ある市民として生活していくためには、小さな課題、大きな課題にかかわらず、さまざまな課題を見出しながらそれらの解決に取り組んでいくことが求

「総合的な探究の時間」とは?

高校の教育課程は改訂され、新科目として「情報I」や「論理国語」などが設置されました。また、教科外活動として「総合的な探究の時間」が新設されました。「総合的な探究の時間」は、小中学校の「総合的な学習の時間」の取組を基盤としており、自己の在り方、生き方に照らし、キャリア形成の方向性と関連づけながら「見方・考え方」を組み合わせて統合させ、自ら問い合わせだし探究する力を育成することです。さまざまな教

科で習得したことを發揮しつつ、自己のキャリア形成と関連づけて学習する活動です。また、興味のある事柄、職業や進路に関する課題などを自ら設定し、情報を収集、分析し、まとめることが求められます。そういった意味で、「探しめる」という言葉があてられていると考えられます。

活水女子大学の グリーンスカラシップ



経済的な理由により学生生活の継続に困難がある、向学心が強い学生を対象に、「活水女子大学グリーンスカラシップ」奨学金制度が設けられています。母校を愛する活水学院卒業生によるご寄付によるもので、2016年に創設され現在まで毎年度10名に支給されています。

卒業生が支援する奨学金制度を活用した学生たちの感謝のメッセージです

※氏名は仮名表記しております。

未来のキャリアに
結びつきました

生活デザイン学科卒業
大学職員
神崎華寿美さん

グリーンスカラシップに採用いただき、誠にありがとうございます。全額授業料として使わせていただきました。父が療養中のため、アルバイトをこれまで以上にしなくてはならない状況でしたので、大変助かりました。おかげで、大学の勉強とともに、就職活動に向けての対策など時間を有効活用できるようになりました。勉学時間を確保できたこともあり、就職に向けて一次試験を通過することができました。残りの学生生活は今までの学びの集大成として卒業研究に一生懸命に取り組んでいこうと思います。

卒業後も活水で学んだ知識と経験を活かして地元に貢献していきたいと考えています。

看護師として社会に
恩返ししてまいります

看護学科卒業
大学病院看護師
姫島奈央海さん

スカラシップは学費に活用しました。おかげで両親の経済面での負担を減らすことができたと思います。私自身の生活面ではアルバイトの時間を勉学にあてることができ、それまでよりもはるかに学習時間を確保することができたことに感謝しております。

お金を稼ぐことは本当に大変だということをアルバイトから実感しました。それだけに学費を出し大学に進学させてくれた両親、また奨学金で支援をしてくださっている卒業生の方に感謝の思いでいっぱいです。

給付のお礼ができるように、今まで以上に精励し立派な看護師として社会へ恩返しをしていたらと思います。これからも感謝の気持ちを忘れずに、さらに精進してまいります。

わたしの挑戦を
後押ししてくださいました

音楽学科卒業
芸術文化ホール勤務
池田 友香さん

グリーンスカラシップは、主に生活費にあてさせてもらいました。1年の時からアルバイトをしていましたが、それだけでは生活費を賄うことは難しい状況でした。奨学金のおかげで家計の負担を少しでも減らすことができました。また、MIDI検定試験を受験するための教材費や受験料にも活用しました。MIDI検定は就職時に有利になる資格であり、その勉強ができたことが大変良かったと思います。おかげさまで合格することができました。

自分が挑戦したいことが実現できているのは、スカラシップ制度があったからです。これからも感謝の気持ちを忘れずに過ごしてまいります。

苦境を支えて
くださいました

音楽学科卒業
旅行代理店勤務
園田ゆかりさん

出身地で大きな災害があり、家族も被災しました。自宅外壁は亀裂が入り、食器が散乱しすさまじい状態でした。家族の仕事にも影響がありました。ひとり親家庭で、普段は母が自宅や音楽教室でレッスンをしていますが、被災でレッスンができず収入に大きな影響が出ました。そのような折に、スカラシップ制度を知り応募させていただきました。思いもよらない災害に見舞われ、多くの不安を抱えていたのは私ばかりではないと思います。幸いにも私はスカラシップのおかげで、授業料等に活用し本当に助かりました。

さまざまな事情を抱えて生活を送る学生生徒がいると思います。学ぶことをあきらめず、苦境にも前を向いて生活を送ることができるこのようなサポートに感謝しますとともに、卒業生の方に深くお礼を申し上げます。社会人として活水女子大学卒であることを誇りに精一杯頑張っていこうと思います。本当にありがとうございました。

夢にみた日本留学、チャンスを
生かして勉強に集中します

日本文化学科2年
在学中
レ・ミー・ヒエンさん

ベトナムにいた頃から日本に憧れ、日本文化を勉強したいと考えていました。夢が叶い、2020年に日本に留学することができました。ベトナムからの仕送りがあるとはいえ、それだけでは学費や生活費を賄うことができず、集中して勉強をすることが困難でした。コロナ禍もあり、生活が不安定になりかけていたなか、スカラシップを受給いただけるチャンスを頂きました。私だけでなく家族全員喜んでくれました。

来日して1年半、日本語能力試験N2もクリアできました。語学を活かして、将来は日本とベトナムとを繋ぐ架け橋になれる仕事を通じて、2つの母国への発展に貢献できればと願います。

最後になりましたが、ご支援してくださった卒業生の方に心よりお礼申し上げます。

ピンチを救って
くださいました

食生活健康学科4年
民間企業管理栄養士内定
塚口美絵子さん

私は生活費と学費をアルバイト収入で賄っています。しかし、3年次は臨地実習等でなかなかアルバイトができない、コロナ禍で収入が減少し、学納金の延納願を提出しぐりぎりまで待ってもらっている状況で、中途退学も頭をよぎりました。そのとき、このグリーンスカラシップの存在を知り、駄目元で応募してみたところ受給できることになりました、学業を続行することができました。今では内定も決まりました。

大学を卒業するか中退かでは人生が大きく変わると思います。スカラシップがあったから今の自分があると思います。奨学金基金を創設いただいた卒業生の方に深く感謝申し上げます。

活水学院創立150周年記念募金のお願い

「150周年に向けた新たな飛躍のための挑戦」に
ご支援をお願い申し上げます



活水学院は1879年の建学以来、自立した女性を育てるという教育使命を担ってまいりました。そして2029年、活水学院は創立150周年を迎えることとなります。

昨今長崎でも若年層の流出による人口減少や産業界の縮小など地域経済低迷の課題に直面しています。このような地方都市共通の危機を乗り越えていくため、活水学院は地域社会と共生を図りながら、建学の精神である「活ける水」を地域社会で注ぎ続ける存在でありたいと願っております。

活水の教育は
昔も今もこれからも
みなさまのご協力に
支えられています



理事長・院長 湯口 隆司

主な「未来への架橋プロジェクト」のご案内

【東山手十二番校舎（旧宣教師館）整備事業】

十二番校舎の伝統的外観を維持しつつ改修を行い、地域住民向けセミナーやミニコンサートの開催等、地域社会に根ざした知的インフラ構築の拠点としての機能を強化し、再活性化を進めます。

【貴重資料アーカイブ及び資料展示室整備】

学院内にある貴重資料、楽譜等を後世に託していくためデジタルアーカイブ化を進めるとともに

【名称】活水学院創立150周年記念募金

【目的】活水学院創立150周年事業「未来への架橋プロジェクト」に要する資金を広くお願いするため

【目標額】第1期：1億円（2023年から2025年までの3か年）

個人：1口3,000円（なるべく複数口のご協力を願いいたします）

法人・団体：1口あたりの金額は特に定めません

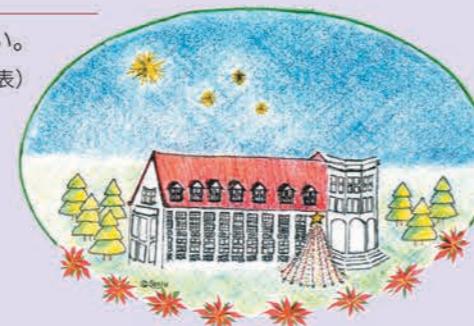
後日、ホームページ等を通じて、寄付方法等をご案内申し上げます。

ご寄付に関する不明な点は、学院総務課までお問合せください。

✉ 150bokin@kwassui.ac.jp TEL.095-822-4107（代表）

読者アンケート

活水学院報「Living Water」に関する
ご意見、ご要望をお寄せください。
右のQRコードよりご入力ください。



2021(令和3)年度決算について

学校法人会計基準では、「活動区分資金収支計算書」「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」を作成することが義務づけられています。以下に、本年度決算の概要を報告いたします。

1. 活動区分資金収支計算書（表1）

学校の活動ごとの収支差額を把握するもので、「教育活動資金収支差額」は1億1,704万円の収入超過、「施設整備等活動資金収支差額」は1億4,628万円の支出超過であります。この結果、4,515万円の支払資金の増加額は4,515万円となり、翌年度繰越支払資金は6億8,25万円となりました。

2. 事業活動収支計算書（表2）

「教育活動収支差額」は2億5,378万円の支出超過、「教育活動外収支差額」は348万円の収入超過、「経常収支差額」は2億5,030万円の支出超過となりました。資産売却や施設設備関係の寄付金、補助金等、臨時の収入・支出は特別収支の部に計上され、本年度の「特別収支差額」は利用価値が無くなつた図書の除却等もあり、1,127万円の支出超過となりました。以上の結果、毎年度の収支バランスを見ると、当年度の「基本金組入前当年度収支差額」は2億6,158万円の支出超過となりました。事業活動収入の合計は25億3,862万円、事業活動支出の合計は25億21万円となりました。

(表2) 2021年度 事業活動収支計算書

2021年度 事業活動収支計算書				
(単位:千円)				
教育活動による資金収支	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	学生徒等納付金	1,563,863	1,564,522	△ 559
手数料	手数料	14,545	15,312	△ 767
寄付金	寄付金	15,921	16,678	△ 757
経常費等補助金	470,613	470,878	△ 265	
国庫補助金	278,485	280,657	△ 2,172	
地方公共団体補助金	192,221	190,221	△ 1,000	
付隨事業収入	41,670	43,073	△ 1,403	
輸入	113,630	116,982	△ 3,352	
教育活動外収入計	2,220,242	2,227,425	△ 7,183	
事業活動収支	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	人件費	1,446,192	1,444,961	△ 1,231
手数料	手数料	781,724	785,990	△ 4,266
寄付金	寄付金	227,272	248,474	△ 21,202
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	人件費	2,465,188	2,481,211	△ 16,023
手数料	手数料	△ 244,940	△ 253,786	△ 8,846
寄付金	寄付金	2,860	2,860	△ 0
経常費等	経常費等	3,064	3,481	△ 417
教育活動外支出計	△ 2,465,188	△ 2,481,211	△ 16,023	△ 244,940
教育活動外収支差額	△ 2,220,242	△ 2,227,425	△ 7,183	△ 244,940
教育活動による資金収支	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	5,924	6,341	△ 417
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	0	0	△ 0
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出計	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
教育活動外収支差額	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
教育活動による資金収支	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	0	0	△ 0
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	0	0	△ 0
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出計	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
教育活動外収支差額	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
教育活動による資金収支	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	0	0	△ 0
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	0	0	△ 0
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出計	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
教育活動外収支差額	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
教育活動による資金収支	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	0	0	△ 0
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	0	0	△ 0
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出計	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
教育活動外収支差額	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
教育活動による資金収支	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	0	0	△ 0
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	0	0	△ 0
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出計	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
教育活動外収支差額	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
教育活動による資金収支	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	0	0	△ 0
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	0	0	△ 0
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出計	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
教育活動外収支差額	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
教育活動による資金収支	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	0	0	△ 0
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	0	0	△ 0
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出計	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
教育活動外収支差額	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
教育活動による資金収支	科 目	予 算	決 算	差 異
受取人	受取利息・配当金	0	0	△ 0
手数料	手数料	0	0	△ 0
寄付金	寄付金	0	0	△ 0
経常費等	経常費等	0	0	△ 0
教育活動外支出	科 目	予 算	決 算	差 異

2023年度入試日程

【活水中学校】 募集人員 女子60名

■入試の概要

	A 入 試	B 入 試
試験日	12月 3日(土)	1月21日(土)
出願期間	11月25日(金)～12月1日(木)	1月12日(木)～1月18日(水)
科目	国語・算数(各科40分100点) 面接(本人のみ)	国語・算数(各科40分100点) 面接(本人のみ)
合格発表	12月7日(水)まで	1月25日(水)まで
入学手続	専願: 12月8日(木)～12月22日(木) 併願: 12月8日(木)～12月22日(木) 1月5日(木)～1月20日(金)	専願・併願ともに 1月26日(木)～2月1日(水)

【活水高等学校】 募集人員 女子160名

英語科:25名／普通科(特進):25名／普通科(総進):110名

■入試の概要

特別入学試験			
種 別	推 薦	専 願	併 願
募 集	総合進学コース	全科・全コース	全科・全コース
出願期間		1月5日(木)～1月11日(水)	
試験日		1月16日(月)	
科 目	面接(本人のみ) ＊確認テストあり	国語、英語、数学 面接(本人のみ)	国語、英語、数学 面接(面接カードによる面接)
合格発表		1月18日(水)	
入学手続	1月19日(木)～1月25日(水)	1月19日(木) ～3月15日(水)	
一般入学試験			
種 別	一 次	二 次	
募 集	全科・全コース	全科・全コース	
出願期間	1月19日(木)～1月24日(火)	1月30日(月)～3月15日(水)	
試験日	1月27日(金)		
科 目	国語、英語、数学 面接(本人のみ)	保護者の急な転勤などの 特別な事情により出身中 学校を通して実施する	
合格発表	1月30日(月)		
入学手続	1月31日(火)～3月15日(水)		

■特別奨学生制度

推 薦	A : 就学支援金を除く授業料全額の給付および施設設備費全額免除
専 願	B : 授業料半額給付
併 願	C : 入学金全額免除
一般一次	＊A、B特別奨学生は毎年認定更新 ＊A、B特別奨学生の授業料給付は就学支援金と相殺

【活水女子大学】 募集人員 女子330名

学部・学科		入学定員
国際文化学部	英語学科	40
	日本文化学科	40
音楽学部	音楽学科	35
	食生活健康学科	60
健康生活学部	生活デザイン学科	35
	子ども学科	45
看護学部	看護学科	75

■入試の概要

試験区分	出願期間	試験日	合格発表
学校推薦型選抜Ⅰ期	11月 1日(火)～ 11月 8日(火)消印	11月19日(土) 11月26日(土)	12月 2日(金)
一般選抜(A方式)	1月 4日(木)～ 1月23日(月)消印	2月 4日(土)	2月 9日(木)
一般選抜(B方式)	2月 7日(火)～ 2月20日(月)消印	3月 3日(金)	3月 9日(木)
一般選抜(A日程)	1月 4日(木)～ 2月 6日(月)消印	2月18日(土) 音楽学部および 看護学部のみ 個別試験実施	2月24日(金)
一般選抜(B日程)	2月 7日(火)～ 2月20日(月)消印	3月 3日(金) 音楽学部および 看護学部のみ 個別試験実施	3月 9日(木)
一般選抜(C日程)	2月24日(金)～ 3月 9日(木)消印	3月15日(水) 音楽学部のみ 個別試験実施	3月16日(木)
一般選抜(特待生選抜)	11月 1日(火)～ 11月 8日(火)消印	11月19日(土)	12月 2日(金)

■総合型選抜試験の概要

	登録期間	出願期間	合格発表
I期		10月 3日(月)～10月21日(金)消印	11月 4日(金)
II期		11月 7日(月)～11月18日(金)消印	11月25日(金)
III期	9月14日(水)～ 2月28日(火)	11月28日(月)～12月 9日(金)消印	12月16日(金)
IV期		1月23日(月)～ 2月 3日(金)消印	2月10日(金)
V期		2月27日(月)～ 3月22日(水)必着	3月24日(金)

【活水女子大学大学院】 ※合格発表は本人宛否通知

試験区分	出願期間	試験日	合格発表
後 期	1月20日(金)～2月3日(金)消印	2月18日(土)	2月24日(金)

入試の詳細については
公式ホームページをご
覧ください。



中学校・高等学校

大学

行事

- 2月 15 日(水) 高等学校卒業式
- 3月 10 日(金) 中学校卒業式
- 3月 11 日(土) 大学卒業式

※大学保護者の参列については
大学 HPへ

お知らせ

【中学校・高等学校】

- 12月17日(土) 高等学校・中学校吹奏楽部定期演奏会



演奏会の
詳細はこちら

【大学】

- 2月 7 日(火) 生活デザイン学科作品展（長崎県美術館にて）
- 2月25日(土) 大学吹奏楽部定期演奏会（諫早文化会館にて）

Living Water

秋冬号 通巻 116 号

発行日：2022年 11月

発行元：活水学院

編 集：学院広報誌編集委員会

〒850-8515 長崎市東山手町 1-50
TEL 095-822-4107(代表)
<https://www.kwassui.ac.jp/>

活水女子大学 東山手キャンパス
〒850-8515 長崎市東山手町 1-50
TEL 095-822-4107

活水女子大学 大村キャンパス
〒856-0835 大村市久原 2 丁目 1246-3
TEL 0957-27-3005

活水高等学校・活水中学校 宝栄町キャンパス
〒852-8566 長崎市宝栄町 15-11
TEL 095-861-5176



活水学院

※活水学院では、各種印刷物に使用する紙資材を
FSC認証紙に切り替えることで、環境負荷を低減
させ、持続可能な森林資源の活用を積極的に進め
ております。本誌もFSC認証紙を利用しております。
©Kwassui Gakuin. All Rights Reserved.